

## 1. 経緯／概要

- 最上川上流における大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国等が連携して減災のための目標を共有し、取組を計画的に推進するため「**第5回 最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会**」を開催しました。
- 昨年6月に施行された「水防法の一部改正する法律」をうけ、本会議より**水防法で定められた法定協議会に移行**いたしました。
- 関係各構成機関の減災に向けた実施状況についてフォローアップ等を行い、平成30年度の取組予定を説明することで減災対策を共有しました。

【日 時】 平成30年7月3日(火) 15:00～17:00

【場 所】 ヒルズサンピア山形 1階 会議室(最上)

【参加機関】 山形河川国道事務所、最上川ダム統管理事務所、山形地方气象台、山形県、山形市、米沢市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、高島町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町： 約40名参加

## 3. 主な発言内容

【白岩孝夫南陽市長】

減災に向けて、住民が自分の命は自分で守るという意識を持つことが大事。  
命を守るのは皆さん自身だということを今後如何に伝えて行くかが課題だと思う。

【田宮栄佐美河北町長】

水防訓練は地域の住民と一緒にやって、国土交通省の大型排水ポンプの排水能力を間近に見ながら、生きた訓練をさせられている。

【小川一博西川町長】

ハザードマップを全戸配布してそれぞれの裏山の沢にも災害が潜んでいることを認識してもらい、災害に対する認識を新たにしてもらうことを進めている。

【鈴木弘幸朝日町長】

実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画を平成29年度に1カ所作成。

【原田俊二川西町長】

防災アドバイザーの山村武彦先生による住民の自発的な意識啓発に取り組んでいる。

【佐藤誠七白鷹町長】

自主防災組織の組織率が100%で積極的に活動している。  
深夜に災害が発生した場合の対応を考えていく必要があると認識している。



会議全体の状況

## 2. 議事内容

- (1) 幹事会の開催報告
- (2) 最上川上流取組方針フォローアップ
  - ① 各構成機関の減災に向けた取組報告
  - ② 平成30年度の取組実施予定
- (3) 今後のスケジュールについて



南陽市長



河北町長



西川町長



朝日町長



川西町長



白鷹町長